

外国語科「英語Ⅱ」シラバス	単位数	4単位	担当者	○○○○
	学科・学年・学級	○○○ 科 第2学年 ○～○組		

1 学習の到達目標等

学習到達目標	(1) 「英語Ⅰ」の学習の基礎の上に立って、より幅広い話題（地域問題、日本や世界が直面する問題、芸術や文化に関わること、マナー、モラル、価値観に関することなど）について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を更に伸ばします。 (2) 「英語Ⅰ」の学習の成果を生かして、場面や目的に応じて、主体的に英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりすることで自発的にコミュニケーション活動に取り組むとともに、教室の内外において積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てます。
使用教科書・副教材等	Genius English Course II Revised (大修館書店) ・教科書付属ワークブック

2 評価の観点及び内容

みなさんの学習状況は、以下の「関心・意欲・態度」、「表現の能力」、「理解の能力」、「知識・理解」の4つの観点から評価します。

観 点	内 容
① 関心・意欲・態度	他者とコミュニケーションを図ることに関心を持ち、主体的・積極的な態度で「読む」「聞く」「話す」「書く」の言語活動に参加しようとしているか。
② 表現の能力	幅広い話題について、情報や考えなどの相手に伝えようとする事柄を、英語で話したり書いたりして、適切に表現することができるか。
③ 理解の能力	幅広い話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどの相手が伝えようとする事柄を的確に理解することができるか。
④ 知識・理解	幅広い話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解しているか。

3 評価方法

上記2の4つの観点について、以下のa～fの方法を適宜組み合わせて評価します。

a	ペアワークやグループワークへの参加状況、教師の質問に対する応答の姿勢
b	ワークシートへの記述内容、教科書本文の要約や自分の感想や考えなどを書く課題の内容
c	教科書本文の口頭要約、与えられたテーマに関するスピーチや話し合い等の発表活動
d	レッスンのテーマに関するインタビューテスト
e	レッスンテスト（本文の内容、表現、文法等に関するテスト）
f	定期考査（中間考査、期末考査）

4 学習計画及び評価方法等（「評価の観点」①～④は上記2、「評価方法」のa～fは上記3に対応）

学 期	月	学 習 内 容		考 査 範 囲	評 価 の 観 点	学 習 の ね ら い ・ 学 習 活 動 [R]: Reading / [L]: Listening [W]: Writing / [S]: Speaking	評 価 方 法
		レ ッ ス ン	題 材 ・ 言 語 学 習				
第 1 学 期	4	Lesson 1 The Bicycle – The Most Advanced Vehicle Ever Created	[題材] 健康や環境への配慮から見直されつつある自転車。その歴史や国内外の自転車事情、様々な自転車を紹介します。 [言語学習] 場面：校内での会話 機能：経験を聞く、理由を述べる、提案をする 文法：関係詞（関係代名詞、関係副詞）助動詞(1) 表現：in terms of ～, up to ～	第 1 学 期 中	①	自転車の歴史や社会的・文化的背景に関心を持ち、ペアワークなどで積極的に自分の考えを述べようとする。[L][S]	a
					②	要約文を完成させるとともに、自転車に乗ることが楽しいかどうかについて、理由も含めて説明することができる。[W][S]	b c
					③	自転車の歴史、効率性、各国における使用状況、特殊な機能やデザインを持つ自転車に関する情報を理解する。[L][R]	e f

期	5			間 考	④ 関係詞（関係代名詞，関係副詞）及び助動詞の意味・用法を理解し，対話文や英文の中で正しく使うことができる。[R][W]	e f
		Lesson 2 The Functions of Language	[題材] 言葉がもつイメージ，年代・経験・興味・文化等の違いによる使用言語の相違，言葉が知覚と記憶に及ぼす影響などについて学びます。 [言語学習] 場面：校内での会話 機能：意見を求める，抗議する，理由を述べる 文法：S+V+O (wh-節)，条件節のない仮定法 表現：What ~ do you think ...?, so much so that ...	査	① 言語の様々な機能や役割に関心を持ち，ペアワークなどで積極的に自分の考えを述べようとする。[L][S]	a
					② 要点を表にまとめるとともに，日本語のつなぎ言葉にはどのような話題があるかについて話し合うことができる。[W][S]	b c
					③ 日常生活における言語の多様な機能を，実際の場面と結びつけながら理解することができる。[L][R]	e f
				④ S+V+O (wh-節)の構文及び条件節のない仮定法の意味・用法を理解し，英文の中で正しく使うことができる。[R][W]	e f	
	6	Lesson 3 Rock Climbing	[題材] ロック・クライミングは危険なスポーツだと思われがちですが，その魅力をいろいろな角度から紹介します。 [言語学習] 場面：ホテルのフロントでの会話 機能：説明する，勧める，理由を述べる 文法：独立分詞構文，助動詞(2)－特殊な用法 表現：in short, best of all	第 1	① ロック・クライミングに関心を持ち，ペアワークなどで積極的に自分の考えを述べようとする。[L][S]	a
				学 期	② 本文の内容でおもしろいと思ったことを話し合ったり，自分の趣味や得意なことを英語で表現することができる。[S][W]	b c
				期 末	③ ロック・クライミングをする際の心構え，その本質や魅力について理解することができる。[L][R]	e f
				考 査	④ 独立分詞構文及び助動詞の特殊な用法を理解し，英文の中で正しく使うことができる。[R][W]	e f
		Lesson 4 The People's Bank	[題材] バングラデシュの経済的に恵まれない人々を救済する目的で設立されたグラミン銀行について，創設者のムハマド・ユヌス氏がその経緯を語ります。 [言語学習] 場面：ショッピングでの会話 機能：依頼する，説得する，仮定する 文法：複合関係詞，that節内でのshouldの省略 表現：come up with ~, what ~ is like		① ユヌス氏の考え方や行動に関心を持ち，ペアワークなどで積極的に自分の考えを述べようとする。[L][S]	a
					② メモを参考に本文の内容を口頭で要約するとともに，ユヌス氏の業績について自分の考えを述べる。[W][S]	b c
					③ ユヌス氏がグラミン銀行を創設するに至った経緯や，彼の貧困に対する考え方を理解することができる。[L][R]	e f
				④ 複合関係詞及びthat節内でのshouldの省略について意味・用法を理解し，英文の中で正しく使うことができる。[R][W]	e f	
	Let's Communicate! 1 Ways to	[題材] 様々なコミュニケーションの方法について考えるとともに，自			① コミュニケーションの方法について関心を持ち，ペアワークなどで積極的に自分の考えを	a

7	Communicate	分にとって一番コミュニケーションを取りやすい人について友だちにインタビューをし、その結果を発表します。 [言語学習] 機能：説明する		述べようとする。[S][L]		
			②	話す事柄について表を完成させ、それをもとに対話したり、友だちにインタビューをすることができる。[W][S][L]	b c d	
			③	英語を聞いて要点をまとめたり、相手の発話内容を正確に把握して適切に応答することができる。[L][W][S]	b c d	
			④	物事を説明するための表現を理解し、ペアワークやグループでの発表の中で正しく使うことができる。[S]	c	
	Reading 1 Table for Two	[題材] レストランで相席になり一目で恋に落ちた男女。ディケンズの小説を愛する2人が辿る数奇な運命を描きます。	①	登場人物の気持ちに興味を持ち、教師の質問などに対して積極的に自分の考えを述べようとしている。[L][S]	a	
			②	登場人物の気持ちを考えながら話の続きを予想し、ロール・プレイで対話することができる。[S]	c	
			③	登場人物の出会いから別れ、さらに再会に至る話の流れを理解し、お互いの心の探り合いを読み取ることができる。[R]	e f	
			④	物語文のスタイルに慣れるとともに、口語表現の特徴を理解しながら読み進めていくことができる。[R]	e f	
【課題・提出物】						
課題	① 事前に配布されるワークシートを使い、指定された箇所の予習をしてから授業に臨むようにします。 ② 授業後に、本文の内容や新出の表現及び文法事項について復習をしておきます。さらに、扱った部分の音読練習を行いましょう。					
提出物	① Lesson 1 から Reading 1 までのワークシート（各レッスン4枚程度）を、各レッスンの終了時にまとめて提出します。 ② ワークブックのLesson 1からReading 1までの問題をすべて解答し、中間考査終了後と期末考査終了後の2回提出します。					
【第1学期の評価方法】						
評価対象	[関心・意欲・態度] 授業中のペアワークやグループワークなどの言語活動への取り組み、ワークシートへの記述 [表現] 発表活動、ライティングの課題、インタビューテスト、第1学期中間考査及び期末考査 [理解] Lesson 1からLesson 4のレッスンテスト、第1学期中間考査及び期末考査 [知識] 第1学期中間考査及び期末考査					
評価割合	第1学期全体の評価割合は、概ね以下のようになります。 ○ 言語活動への取り組み状況、ワークシートの記述内容 — 10% ○ 発表活動及びライティングの課題内容、インタビューテストの成績 — 15% ○ Lesson 1 から Lesson 4 のレッスンテストの成績 — 15% ○ 第1学期中間考査及び期末考査の成績 — 60%					
第9	Lesson 5 Universal Design	[題材] すべての人が暮らしやすい社会を目指すユニバーサル・デザイン。海外や国内の様々な取り組み	第	①	ユニバーサル・デザインへの意識を高め、ペアワークなどで積極的に自分の考えを述べようとする。[L][S]	a

2 学 期	10		<p>みを紹介し、その精神について考えます。 [言語学習] 場面：校内での会話 機能：苦情を言う、主張する、提案する 文法：不定詞のまとめ、形式主語・形式目的語のitのまとめ 表現：as well, no matter how ...</p>	2 学 期 中 間 考	<p>② 身近なユニバーサル・デザインの例について英語で書き、それを聞き手にわかりやすく説明することができる。[W][S]</p> <p>③ ユニバーサル・デザインの基本的な考え方と国内外の事例を理解し、要点をまとめることができる。[L][R][W]</p> <p>④ 不定詞及び形式主語・形式目的語のitの意味・用法を理解し、英文の中で正しく使うことができる。[R][W]</p>	b c e f e f	
		Lesson 6 Fighting for Green	<p>[題材] 環境保護に取り組んでいる世界各地のエコロジストたちを紹介します。彼らの具体的な試みを通して、環境問題について考えてみます。 [言語学習] 場面：校内での会話 機能：主張する、理由を述べる、依頼する 文法：動名詞のまとめ、挿入表現 表現：in hand, as many as ~</p>	査	<p>① 環境保護活動に関心を持ち、ペアワークなどで積極的に自分の考えを述べようとする。[L][S]</p> <p>② 本課に登場する人物に英語で手紙を書き、自分の感想や考えを表現することができる。[W][S]</p> <p>③ 各登場人物の地球環境保護に関する取り組みの内容を理解し、その概要をまとめることができる。[L][R][W]</p> <p>④ 動名詞及び挿入表現の意味・用法を理解し、英文の中で正しく使うことができる。[R][W]</p>	a b c e f e f	
		Lesson 7 Tom Edison's Shaggy Dog	<p>[題材] “shaggy dog story”と呼ばれる物語のジャンルから、発明王エジソンとその愛犬にまつわる不思議な物語を取り上げます。 [言語学習] 場面：スピーチ 機能：報告する、理由を述べる、感想を述べる 文法：省略、強調 表現：one ~ the other ..., the+比較級 ..., the+比較級</p>	第 2 学 期 末 考	<p>① 登場人物の会話の内容に興味を持ち、ペアワークなどで積極的に自分の考えを述べようとする。[L][S]</p> <p>② 登場人物の気持ちが伝わるように音読できるとともに、知能が高いと思う動物について説明することができる。[R][S]</p> <p>③ 登場人物の性格や発話の真意を理解し、場面ごとに変化する心理状況を把握することができる。[R]</p> <p>④ 省略表現及び強調表現の意味・用法を理解し、英文の中で正しく使うことができる。[R][W]</p>	a c e f e f	
		Lesson 8 Shackleton	<p>[題材] 1915年1月、アーネスト・シャクルトン隊は南極大陸を目前にして遭難し、それから1年7ヶ月、奇跡的に生還を果たした彼らの想像を絶する全記録です。 [言語学習] 場面：Eメール 機能：報告する、誘う、落胆する 文法：S + V(≠be) + C(分詞), There is S + to不定詞/分</p>	査	<p>① シャクルトン隊に起きた出来事に関心を持ち、ペアワークなどで積極的に自分の考えを述べようとする。[L][S]</p> <p>② 本文から読み取れる情報を表にまとめ、その内容をペアでのQ&Aによって確認することができる。[W][S]</p> <p>③ シャクルトン隊が経験した試練や、それをどのように乗り越えていったかについて理解することができる。[L][R]</p>	a c e f	

12		詞 表現：be stuck, ready to ～		④ S + V(≠be) + C(分詞)及び There is S + to 不定詞/分詞の意味・用法を理解し，英文の中で正しく使うことができる。[R][W]	e f	
	Let's Communicate! 2 Storytelling	[題材] 自分の子どもときの思い出を書き，それをグループで発表するとともに，ビデオに録画をします。他のグループ発表をビデオ視聴し，気がついた点を話し合います。 [言語学習] 機能：過去の出来事を描写する		① 積極的に友だちとコミュニケーションを図り，自分に関する情報を相手に伝えようと努力している。[S][L]	a	
				② 聞き取った内容に基づいて会話を作って演じたり，子どもときの思い出を発表することができる。[L][W][S]	b c d	
				③ 他のグループの発表内容を正確に理解し，気がついた点をフィードバックすることができる。[L][S]	a c	
				④ 過去の出来事を描写するための表現を理解し，ペアワークやグループでの発表の中で正しく使うことができる。[S][W]	c	
【課題・提出物】						
課題	① 事前に配布されるワークシートを使い，指定された箇所の予習をしてから授業に臨むようにします。 ② 授業後に，本文の内容や新出の表現及び文法事項について復習をしておきます。さらに，扱った部分の音読練習を行きましょう。					
提出物	① Lesson 5 から Lesson 8 までのワークシート（各レッスン4枚程度）を，各レッスンの終了時にまとめて提出します。 ② ワークブックのLesson 5からLesson 8までの問題をすべて解答し，中間考査終了後と期末考査終了後の2回提出します。					
【第2学期の評価方法】						
評価対象	〔関心・意欲・態度〕授業中のペアワークやグループワークなどの言語活動への取り組み，ワークシートへの記述 〔表現〕発表活動，ライティングの課題，インタビューテスト，第2学期中間考査及び期末考査 〔理解〕Lesson 5からLesson 8のレッスンテスト，第2学期中間考査及び期末考査 〔知識〕第2学期中間考査及び期末考査					
評価割合	第2学期全体の評価割合は，概ね以下のようになります。 ○ 言語活動への取り組み状況，ワークシートの記述内容 — 10% ○ 発表活動及びライティングの課題内容，インタビューテストの成績 — 15% ○ Lesson 5 から Lesson 8 のレッスンテストの成績 — 15% ○ 第2学期中間考査及び期末考査の成績 — 60%					
第 3 学	1	Lesson 9 Sensitive Plants	[題材] 植物には五感があるのか，また天敵から身を守るためにどのような能力が備わっているのかなどについて学習します。 [言語学習] 場面：テレビ 機能：紹介する，報告する，主張する 文法：助動詞 + 完了形，無生物主語構文 表現：take hold of ～，due to ～	学 年 末 考 査	① 植物に備わる様々な不思議な能力に興味を持ち，ペアワークなどで積極的に自分の考えを述べようとする。[L][S]	a
					② 本文から読み取れる情報を表にまとめ，その内容をペアでのQ & Aによって確認することができる。[W][S]	c
					③ 植物がいかなる状況でどのような反応をするかについて，実際の様子を想像しながら理解することができる。[L][R]	e f

期	2	Lesson 10 The Work of Eriko Horiki	[題材] 日本の伝統文化を守りつつ革新の挑戦を続ける和紙作家、堀木エリ子さんの和紙にかける情熱を紹介します。 [言語学習] 場面：校内での会話 機能：助力を求める、感想を述べる、助言する 文法：完了不定詞, There + V(≠be) + 名詞 表現：as ～, keep ～ in mind	④ 助動詞＋完了形及び無生物主語構文の意味・用法を理解し、英文の中で正しく使うことができる。[R][W]	e f
				① 堀木さんの生き方について関心を持ち、ペアワークなどで積極的に自分の考えを述べようとする。[L][S]	c
				② 本文の内容を口頭で要約するとともに、堀木さんの作品や生き方について感じたことを英語で発表できる。[S][W]	b c
				③ 堀木さんの生い立ち、和紙の制作技法、伝統に対する考え方と未来に寄せる思いなどを理解することができる。[L][R]	e f
	3	Reading 2 The Blue Diamond	[題材] シャーロック・ホームズの元に届けられたガチョウの腹から出てきた宝石をめぐる事件を、ホームズが解明します。	④ 完了不定詞及びThere + V(≠be) + 名詞の意味・用法を理解し、英文の中で正しく使うことができる。[R][W]	e f
				① ホームズの謎解きについて関心を持ち、教師の質問などに対して積極的に自分の考えを述べようとする。[L][S]	a
				② 本文から読み取れる情報をメモし、それに基づいて話の概要を説明することができる。[W][S]	b c
				③ 事件の概要やホームズがどのように謎解きをしていったかを、順序立てて理解することができる。[R]	e f
				④ 探偵小説のスタイルに慣れるとともに、辞書に頼りすぎることなく概要を把握する習慣をつける。[R]	e f
				Let's Communicate! 3 The Place to Be Recommended	[題材] 自分の町で紹介したい場所を選び、メモに基づいて紹介文を作ります。さらに町の紹介ビデオをグループで作リ、校内放送で発表します。 [言語学習] 機能：手紙の表現
② 自分の町について英文を書くとともに、聞き手にわかりやすく紹介することができる。[W][S]	b c d				
③ 英語を聞いてその内容をメモすることができるとともに、友だちの発表内容を正確に理解することができる。[L][S]	a c				
④ 手紙における書き出し、話題の導入、結びの表現を理解し、実際に手紙を書いてそれらを正しく使うことができる。[R][W]	b				
【課題・提出物】					
課題		① 事前に配布されるワークシートを使い、指定された箇所の予習をしてから授業に臨むようにします。			

	② 授業後に、本文の内容や新出の表現及び文法事項について復習をしておきます。さらに、扱った部分の音読練習を行きましょう。
提出物	① Lesson 9 から Reading 2 までのワークシート（各レッスン4枚程度）を、各レッスンの終了時にまとめて提出します。 ② ワークブックのLesson 9からReading 2までの問題をすべて解答し、学年末考査終了後に提出します。
【第3学期の評価方法】	
評価対象	〔関心・意欲・態度〕 授業中のペアワークやグループワークなどの言語活動への取り組み、ワークシートへの記述 〔表現〕 発表活動、ライティングの課題、インタビューテスト、学年末考査 〔理解〕 Lesson 9からReading 2のレッスンテスト、学年末考査 〔知識〕 学年末考査
評価割合	第3学期全体の評価割合は、概ね以下のようにします。 ○ 言語活動への取り組み状況、ワークシートの記述内容 — 10% ○ 発表活動及びライティングの課題内容、インタビューテストの成績 — 15% ○ Lesson 9 から Reading 2 のレッスンテストの成績 — 15% ○ 学年末考査の成績 — 60%
【学年成績の算出方法】 $\begin{array}{ccccccc} \text{〈授業日数比〉} & \text{第1学期 (約3か月)} & : & \text{第2学期 (約3か月)} & : & \text{第3学期 (約2か月)} & \\ \downarrow & \div & & 0.375 & : & 0.375 & : & 0.25 \\ & \text{(この授業日数比に基づく算式)} & & & & & & \end{array}$ $\text{〈学年末成績〉} = [\text{第1学期成績}] * 0.375 + [\text{第2学期成績}] * 0.375 + [\text{第3学期成績}] * 0.25$	

5 「英語Ⅱ」の学習に関するアドバイス

- ・英語は生きた言語であり、実際に他者とコミュニケーションを図る手段を、授業を通して獲得するということを常に念頭に置いてください。したがって、聞いたことや読んだことを理解するだけにとどまらず、情報や自分の考えなどを、話すことや書くことの形で相手に発信することが大切です。
- ・「英語Ⅰ」と比べて英文は難しくなりますが、次の点に留意して情報を理解するようにしてください。
 - すぐに辞書に頼らず、文脈や文法、構文についての知識から意味を推測する。
 - 文章の中でポイントとなる語句や文（繰り返して用いられる語、5W1Hを表す表現、対比して用いられる語句、文と文やパラグラフとパラグラフを接続する語句など）、日本語とは異なる段落の構成法や展開法に注意する。
 - 目的や状況に応じて、速読や精読など、適切な読み方をする。
- ・教科書等で扱う話題について、図書館やインターネットの利用によって幅広く情報を収集し、自分の意見を英語で発表できるように心がけましょう。

6 授業を受けるに当たって守ってほしい事項

- ・〈[家庭学習] ワークシートを使った予習 ⇒ [授業] 内容理解の確認＋コミュニケーション活動〉という流れが基本になります。また、与えられたテーマや問題について発表するような場合は、事前に十分なリサーチが必要となります。
- ・ペアやグループで英語を話したり聞いたりする時間が多くなります。自分が話そうとしている事柄を、今の自分が持っている言語知識を総動員して相手に伝えるように努力してください。その際、適切な英語が思い浮かばなくても、既習の表現や文構造で言い換えるなどの工夫が必要になってきます。
- ・授業はほぼすべて英語を使って進めます。みなさんの使用言語も、原則として英語のみです。指示内容等でわからない点があれば、途中で手を挙げるなどして、遠慮なく質問をしてください。

7 授業担当者からのメッセージ

- ・どのレッスンでも、教科書はあくまで話題の提供をし、必要な言語知識を与えてくれるに過ぎません。題材内容について自分の意見を述べたり友だちと話し合ったりする活動を取り入れることで、「読む」「聞く」「話す」「書く」をバランスよく学習できるようにします。
- ・実践的なコミュニケーション能力を身につけることを目指します。教科書本文の日本語による理解は、決してゴールではありません。
- ・教科書の英文については、実際に運用できるレベルまで習熟するように、口頭要約等の練習を繰り返します。